

2 アンケート調査の方法と基礎集計

アンケート調査の方法と基礎集計の結果を以下に示す。

(1) 調査票の設計

本調査では、一連の観光行動を大きく5段階に分類し、観光行動の全体像や観光客の満足度を把握し、京都市の観光交通の課題を分析することを目的に、調査票を設計した。

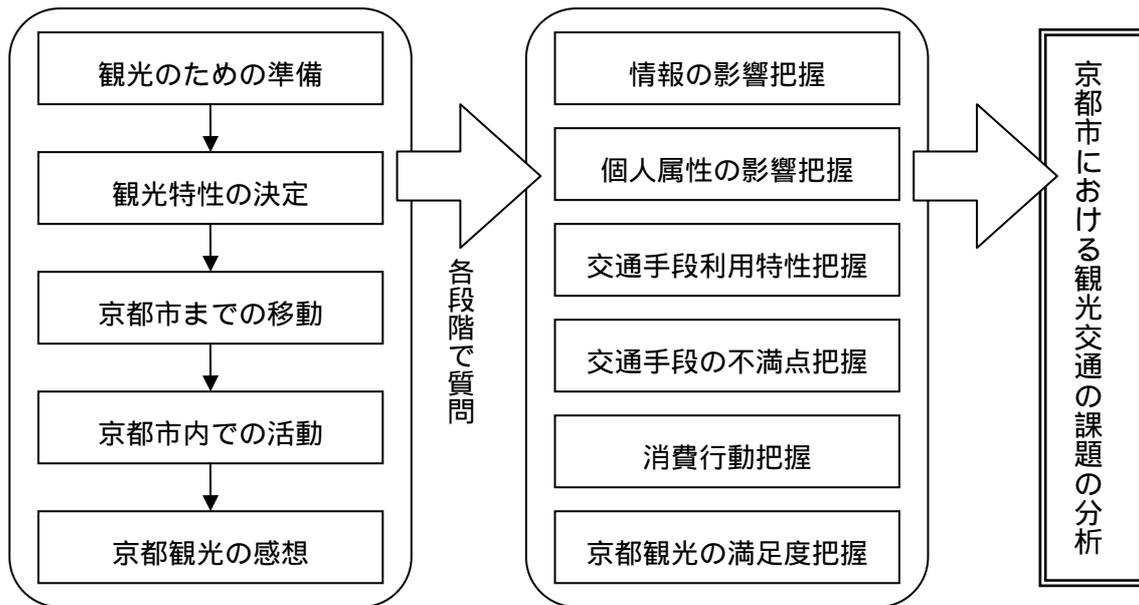


図 2-1 アンケート調査票設計の考え方

質問項目は、過年度調査結果との比較分析を可能とするために、過年度調査の調査票を参考に作成した。過年度調査の調査票と本調査の調査票の対応表を次頁に示す。

表 2-1 本調査と過年度調査の質問項目

質問項目	本調査 調査票	過年度 調査票	備考
計画・準備			
京都への訪問意向	問1	-	
観光のために京都を調べた情報媒体	問2	-	事前に利用した情報媒体の把握
観光旅行の予算	問3	-	予算に対する意向を把握
今回の京都観光について			
グループ構成	問4	問5	
グループの総人数	問4	問5	グループ内の小学生以下人数, 65歳以上人数
旅行の主な目的	問5	問4	
カーナビの利用状況	問6	-	カーナビの利用状況の把握
京都市外在住者について（遠距離旅行者用）			
京都市までの利用交通機関	問7	問11	
E C Tの利用状況	問7	-	京都までにE T C利用の把握
京都市への過去の訪問経験	問8	問7	
自宅～京都市の所要時間	-	問8	
旅行の日程	問9	問9	
旅行の主な訪問地, 宿泊地	問9	問10	
調査票を受け取った日	問9	問10	
調査票を受け取った日の京都市内での観光について			
京都市内の利用経路	問10	問12	
京都市内の入り口と出発時刻	問11	問13	
京都市内の立ち寄り場所とその時間	問12	問14	
立ち寄り場所での消費額	問12	-	飲食, 土産物額の把握
利用交通機関	問13	問15	
利用交通機関の不満点	問13	-	トリップ毎に交通手段の不満点を質問
宿泊地or京都市からの出口	問14	問16	
京都市内の道路の混雑状況	-	問17	
京都市内の駐車場で困ったこと	-	問17	
自家用車の選択理由	-	問17	
観光地周辺の自動車乗り入れ禁止施策の意見	-	問18	
京都市内の観光の感想			
京都観光に対する満足度	問15	問21	
満足度の中で, 最も不満だった項目とその理由	問15	問21	具体的にどこが不満だったのかを質問
京都観光の魅力向上に必要な項目	-	問21	
積極的に押し進める施策	問16	問20	
一日乗車券, フリーチケットの利用状況	問17	問18	
フリーチケットを利用しなかった理由	問17	-	
P&Rの利用状況	問18	-	
P&Rを事前に知っていた場合の利用意向	問18	-	
京都市への再度の訪問意向	問19	問22	
乗車券がより便利になった場合の利用意向	-	問19	
乗車券が便利になっても利用しない理由	-	問19	
個人属性について			
年齢	問20	問1	
性別	問20	問2	
職業	問21	問2	
1週間の休日日数	-	問2	
自宅住所	問22	問6	
日常の自動車利用状況	問23	問3	

(2) 調査方法

ア 調査実施日

道路渋滞など受入環境を上回る需要が発生している状況下での観光交通行動のデータを取得するため、調査実施日は観光客の集中する11月とした。また、観光行動は天候によっても大きく左右されるため、調査実施日が雨天であった場合の予備日を調査実施日の1週間後に設定した。その上で、「平成18年度 のりかえ（無料）駐車場」実施日（11月18日、19日、23日、25日、26日）を考慮し、調査実施日を11月18日（土）・19日（日）のいずれか、予備日を11月25日（土）・26日（日）のいずれかとした。

土曜日に調査を実施した場合は調査日当日泊の被験者が多くなる一方で、日曜日に実施した場合は調査日前日泊の被験者が多くなり、いずれにしても被験者が偏ることが想定される。そのため、両日（土曜日・日曜日）での実施が適切であると考えられるが、同一の宿泊客が両日とも調査票を受け取る可能性があること、配布に係る調査コスト（配布員の手配等）が増加すること等の問題もある。

そこで、過年度調査結果から、宿泊日当日が調査日となった被験者と、宿泊日の次の日が調査日となった被験者で、1日の平均トリップ数と1箇所あたりの平均滞在時間を比較した。結果、両者に大きな差異がみられなかったため、土曜日と日曜日における一日の観光行動に大きな相違はないと考え、いずれか一方で実施するものとした。

また、自動車利用に限ったデータではあるが、平成17年の市内駐車場の利用台数が土曜日より日曜日の方が多いため、調査票配布のしやすさを考え、調査実施日は2006年11月19日（日）とし、予備日は11月26日（日）とした。

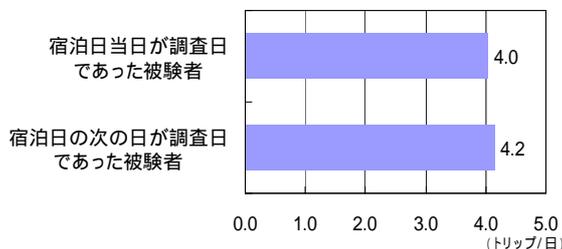


図 2-3 1日の平均トリップ数(過年度調査)

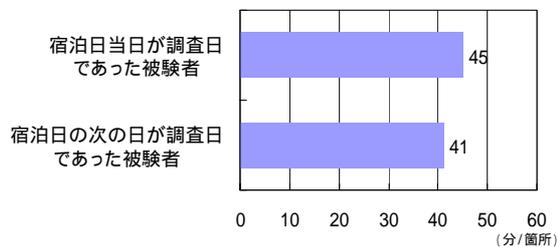


図 2-2 1箇所あたりの平均滞在時間(過年度調査)

表 2-2 市内駐車場の利用台数(平成 17 年)

(台)

日	曜日	合計	内 訳								
			鴨東	岡崎公園	八条口	二条城	四条烏丸	清水坂	銀閣寺	嵐山	出町
11月3日	祝	5,267	475	1,652	638	470	880	338	176	320	318
11月5日	土	4,910	430	1,462	531	446	763	317	193	440	328
11月6日	日	4,758	476	949	810	559	926	274	173	399	192
11月12日	土	5,536	467	2,049	576	460	784	487	152	275	286
11月13日	日	5,927	494	1,886	670	490	845	665	134	453	290
11月19日	土	4,961	439	1,657	592	428	829	378	105	239	294
11月20日	日	5,416	524	1,755	746	444	835	321	118	392	281
11月23日	祝	5,198	493	1,722	625	432	794	447	89	247	349
11月26日	土	4,695	457	1,537	662	406	774	294	76	198	291
11月27日	日	5,375	524	1,785	750	466	891	246	72	363	278
合計		52,043	4,779	16,454	6,600	4,601	8,321	3,767	1,288	3,326	2,907

(資料：京都市)

イ 調査票配布箇所

(ア) 調査票配布箇所

調査票配布箇所は、過年度調査の配布箇所をもとに、主要観光地 29 箇所、鉄道ターミナル 6 箇所に設定した。主要観光地については、過年度調査で配布した 23 箇所に加え、市内訪問地の入り込み客比率（資料：京都市観光調査年報 平成 17 年）等を参考に以下の 6 箇所でも配布した。

- 高台寺
 - 市内訪問地の入り込み客の比率が 6 位（9.3%）
- 八坂神社
 - 市内訪問地の入り込み客の比率が 8 位（7.9%）、近隣の知恩院は 17 位（4.6%）
- 伏見稲荷大社
 - 市内訪問地の入り込み客の比率が 25 位（2.8%）
- 東福寺
 - 市内訪問地の入り込み客の比率が 17 位（4.0%）
- 四条大橋
 - 周辺に過年度調査で配布していない観光地が点在（訪問地の入り込み数の比率：「四条河原町」15 位（4.9%）、「祇園」19 位（4.3%）、「南座」23 位（3.1%））
 - 京都都心に訪れる観光客の交通行動の把握のため
- 河原町三条
 - 京都都心に訪れる観光客の交通行動の把握のため（市内訪問地の入り込み客

数比率が 23 位（2.8%）である錦市場を想定していたが、調査票配布が困難であったため変更）

また、過年度調査で配布した下記の箇所での配布は取りやめた。その理由は、以下の通りである。

- 宿泊施設

- 過年度調査での日帰り客 / 宿泊客の比率は、日帰り客：52%，宿泊客：48% であり、京都市観光調査年報に示される数値に比べ宿泊客の比率が高いこと
- 過年度調査結果より、宿泊施設で調査票は配布しない場合でも、宿泊客の被験者は十分に確保できると考えられること

表 2-3 過年度調査・京都市観光調査年報による日帰り客数と宿泊客数

	日帰り	宿泊	計
過年度調査	2603人	2377人	4980人
	52%	48%	100%
過年度調査 (宿泊施設での調査票受取を除く)	2596人	1604人	4200人
	62%	38%	100%
入洛観光客数 (平成8年11月)	4489千人	1437千人	5926千人
	76%	24%	100%

上段:実数
下段:比率

(入洛観光客数：京都市観光調査年報)

- 京都南 IC・京都東 IC（名神高速道路）

- ETC の普及等によりドライバーへの手渡し配布が困難であること
- 代替案として市内駐車場での配布も考えられるが、調査実施日（11月19日）は清水坂観光駐車場・嵐山観光駐車場といった観光地のメインとなる駐車場でマイカー利用ができないこと、また駐車場利用者には各主要観光地で調査票を受け取る可能性もあることから、各主要観光地での配布を当初予定より増加することで対応することとした

- 市バス・地下鉄一日乗車券販売所

- 観光 1 日（2 日）乗車券利用者の被験者は、当該箇所以外での配布でも確保できると考えられること（過年度調査結果では、観光 1 日（2 日）乗車券利用者 477 人のうち、市バス・地下鉄一日乗車券販売所で調査票を受け取った人は 218 人）

(4) 配布員配置

調査票配布員は、主要観光地では施設の入口もしくは近隣の歩道に配置し、一方、鉄道ターミナルでは改札口周辺に配置した。

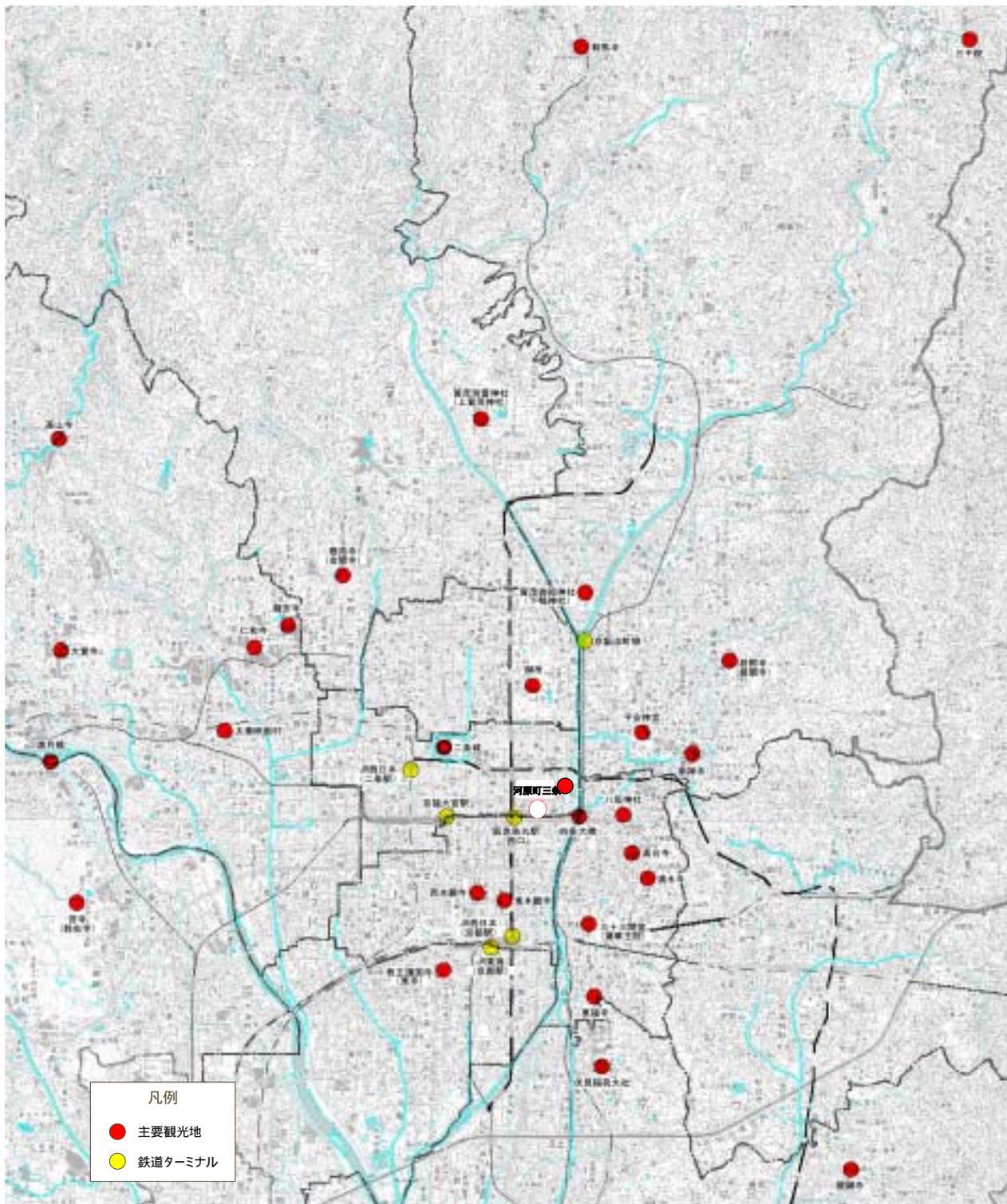


図 2-4 調査票配布箇所

ウ 配布時間帯

過年度調査では、調査票の受取時刻によって平均トリップ数が異なっており、配布時刻の偏りは調査結果の信頼性を損なうことから、できるだけ1日を通して配布できるように以下のように配布時間を設定した。

- 主要観光地（四条大橋，河原町三条を除く）・鉄道ターミナル：10:00～17:00
 - 寺社等の多くが9:00～17:00を拝観時間としているため
- 四条大橋・河原町三条：11:00～19:00
 - 周辺には商業施設も多く17:00以降も観光客の来訪が多いと考えられるため



図 2-5 調査票受取箇所及び時間帯別の被験者の平均トリップ数(過年度調査)

エ 配布枚数

配布箇所の配布枚数を以下の方法で設定した。全箇所合計で20,000枚を配布した。

(ア) 配布箇所別の配布枚数

- 主要観光地
 - 過年度調査と同様に、京都市観光調査年報(平成17年)の市内訪問地の入り込み客数の比率により5,000枚を按分し、50枚単位(端数は切り上げ)、最高枚数を1,000枚、最低枚数を500枚として設定
- 鉄道ターミナル
 - 過年度調査の配布枚数の約8割に設定

(イ) 時間帯別配布枚数

時間帯別の枚数は、配布箇所別に、過年度調査の実績に準じた時間帯別の配布比率を設定し、上で設定した配布箇所別の配布枚数を按分した。

表 2-4 調査票配布箇所別の配布枚数

配布箇所	配布時間帯別 配布数(枚)				総配布数 (枚)	
	10時～12時 (四条大橋,河原町 三条は11時～12時)	12時～15時	15時～17時	17時～19時		
1 清水寺	300	460	240	-	1,000	
2 渡月橋	290	390	170	-	850	
3 平安神宮	200	200	100	-	500	
4 金閣寺	260	270	120	-	650	
5 銀閣寺	240	260	100	-	600	
6 二条城	190	220	90	-	500	
7 御所	200	220	80	-	500	
8 南禅寺	210	240	100	-	550	
9 三十三間堂	200	220	80	-	500	
10 大覚寺	140	250	110	-	500	
11 三千院	200	220	80	-	500	
12 龍安寺	200	220	80	-	500	
13 仁和寺	200	220	80	-	500	
14 太秦映画村	160	250	90	-	500	
15 鞍馬寺	200	240	60	-	500	
16 東本願寺	70	260	170	-	500	
17 西本願寺	210	210	80	-	500	
18 醍醐寺	180	240	80	-	500	
19 東寺	200	220	80	-	500	
20 上賀茂神社	170	240	90	-	500	
21 下鴨神社	190	230	80	-	500	
22 苔寺(鈴虫寺)	200	220	80	-	500	
23 高山寺	200	220	80	-	500	
24 高台寺	200	220	80	-	500	
25 八坂神社	200	220	80	-	500	
26 伏見稲荷大社	200	220	80	-	500	
27 東福寺	200	220	80	-	500	
28 四条大橋	30	200	210	210	650	
29 河原町三条	30	160	160	150	500	
主要観光地 計					15,800	
鉄道ターミナル	30 JR京都駅(新幹線改札口)	330	280	190	-	800
	31 JR京都駅(在来線改札口)	660	550	390	-	1,600
	32 JR二条駅	80	80	40	-	200
	33 京阪出町柳駅	160	140	100	-	400
	34 阪急烏丸駅	160	140	100	-	400
	35 京福四条大宮駅	150	350	300	-	800
鉄道ターミナル 計					4,200	
計					20,000	